30年度第5回そだつ部会議事録

30 年度第 5 回そたつ部会議事録	
日 時	2018年12月4日(火)10:00~
場所	地域連携交流施設 1階 地域活動室
テーマ	1、本日参加メンバー
	2、事務局より
	3、協議
	4、次回開催日の調整
内容	1. 参加メンバー: 10 名
	2. 事務局より

- ・(はたらく部会)はたらく現場見学会について
- 11月9日(金)ハリマ化成株式会社

参加者 15 名 (一般 6 名)

- ・(はたらく部会)就労に関する部会内勉強会
- 12月14日 講師 ハローワーク 職業センター
- ・(くらす部会)福祉サービスに関する部会内勉強会
- 12月19日 講師 福祉グループ 田中さん
- ・(くらす部会)福祉会館キッチンスタジオを用いた障害当事者家族が集う会 2019年1月12日、26日

3. 協議

- ○かけはし
- ・書式の変更で簡略化ならいいが、別にすると二部作らないといけない
- →簡略化していった方が良い
- ・かけはしをかかない保護者はかけない、書きたくない、難しいという印象を持っている。
- →東京文京区のような書式、雰囲気なら書きやすそうなので書いてもらうには良い。
- ・現在の形は自由記述が多い→個別問題が多かったためあえてそうしているが、少し多すぎる
- ・保護者の主体性を尊重したい→仮に統一しても、他の市町にいけばまた書式も変わる ゆるい形の方がいい
- ・親の意見 せっかく苦労して書いたのに学校に持って行っても反応が薄い。
- ・学校としては支援計画と書式を合わせてくれたほうが楽。書く方も支援計画は支援計画で書 かないといけないので書くものが増える
- ・渡す枚数を減らせば枚数なら受け取る側もやはり受け取りやすい。大きいものをどんと渡すと先生は「そんな大事なもの預かれません…」となってしまう。
- ・周りの人が子ども像を共通理解できるようなものに
- ・年々状況は変わっていく 成長するし、苦手なものも変わる 身辺自立もできてくる。
- ・かけはしを作ったのもかなり前の事 12、3年前
- ・文京区のサポートマップは良い 大変便利
- ・学校の先生がどこの放デイを使っているか知って連携すべき。見通しが良くなる。
- ・放デイがその子に合っているかいないか。運動が得意なのに勉強系に行ったりしていないか
- →かけはしを通じて親と教師がそのことについて話し合えたら
- ・エコマップは災害時の対策にもつながる。医療機関との関係
- ・医療連携加算とはどんなことなのか保護者は分からずに同意をしていることがある。それで

良いのか

- →勉強できる場があれば…厚労省は明文化しているが、具体性がない。都道府県によって解釈 が違う。
- →兵庫県の解釈を聞くべき→播磨町にも

●かけはし CAFE

- ・今回のかけはし CAFÉ は従来のかけはしを使う。
- →今回の参加者に案を見てもらって意見をもらえばより良くなるのではないか。かけはしの改編完了もあせらずじっくり進めた方が良い。
- ・土日に開催して欲しいとの声はあるが、以前土曜に開催した時は参加者が少なかった。 今回は平日に開催しつつ、予備日を土曜にも設け、申込みがあれば開催する形でニーズを改めてはかりたい。(土曜日はアエソンと bubu で対応)
- ・幼稚園の迎えなど考えると早く始まって早く終わる 9 時半始まりの 11 時終わりの方が参加しやすい
- ・2019年2月19日(火)9:30~開催(予備日は2月23日(土)時間同じ)
- ●そだつネットワークの調査 そだつ分野に関する資源と支援の再確認
- ・過去に就学サポート会議で配布された各機関の紹介、説明を集めてより分かりやすいものに 再編集したい。→部会で載せる文章載せない文章を精査した方がよい。一年かけてマップ化し ていけたら
- ・どこに何があるかよりもパンフレットの様なものにしたい。福祉のしおりは制度側の目線で 書くので標記の仕方が難しい。
- ・保護者向けなら…こんな時はどうする?という形の方がよい
- ・現時点で各種記載内容の変更はなし。支援学校のスケジュールも細かい日程は違うが時期は 大体同じ。詳しい事は学校の HP には載っている。各学校園には配っているが、すべての保護者 に行きわたるわけではないので、HP を見てもらった方が確実

○次回部会に向けて

- ・パンフレット用の資料があれば持参
- ・かけはしの案をメール等で送付するので事前に確認

4. 次回開催日の調整

2月28日(木)10:00~地域連携交流施設 1階